



国際ダークスカイ協会 東京支部 (IDA 東京) 事務局
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経営学部第 57 研究室
Fax: 03-3945-7477 Mail: ochi (at) idatokyo (dot) org

プレスリリース カテゴリー【環境・天文】

報道関係者各位

2017 年 8 月 18 日

日本初の「星空保護区」認定へ向け、申請手続きが完了

西表石垣国立公園を「ダークスカイ・パーク」に、石垣市と竹富町が共同申請

光害のない、美しい夜空を保護する優れた取組みの認定制度

国際ダークスカイ協会（米国アリゾナ州に本部を置く NPO）が 2001 年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（星空保護区認定制度）* は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取組みを称える制度です。認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における活発な教育啓発活動などが求められます。そしてそれらは、自治体・観光業界・産業界・地域住民など多くの人々の理解と努力によって支えられます。

2017 年 8 月 17 日現在、世界で 85 ヶ所が認定されていますが、日本ではまだ認定はなく、申請に至った地域もありませんでした。

*) ウェブサイト <http://idatokyo.org/hogoku>



石垣島星空ファーム (c)星空ツーリズム社

沖縄・八重山諸島での申請に向けた取組み

2013 年、八重山諸島の星空ツアーガイド有志らと IDA 東京の共同により、日本初の星空保護区申請に向けた活動が開始されました。光害啓発のための一般向け講演会や屋外照明調査、夜空の明るさ調査（協力：星空公園）などを経て、2016 年 5 月には IDA 本部からプログラム統括者のジョン・バレンタイン氏を招聘。同氏は地元テレビ局のインタビューに対し、八重山諸島の星空を「世界中のどんなダークスカイとも遜色ない、素晴らしい」と絶賛しました。

2015 年度からは石垣市・竹富町からの支援を得て、八重山諸島の中でも特に暗い環境が保持されている西表石垣国立公園をダークスカイ・パークとして申請する方針が固まり、IDA の基準に適合した屋外照明管理計画も制定されました。

この度、石垣市と竹富町が共同でまとめた申請書は英文 115 ページにわたり、八重山諸島における星空資源（自然環境・文化資源・天文施設など）の解説や夜空の明るさ調査結果などが述べられているほか、両市町長による共同声明文、環境省那覇自然環境事務所・沖縄県知事・両市町観光協会・民間などからの多くのサポートレター等も含まれています。今後 IDA による厳格な審査が行われ、結果の公表は 3 ヶ月後以降となる見込みであり、特に観光業への効果が期待されています。なお、公園内に設置されている現状の屋外照明の多くが IDA の基準を満たさないため、認定された場合は暫定認定となり、3 年以内に屋外照明の 3 分の 2 以上を改修することにより、本認定となる見込みです。



西表島の星空 (c)Coral-foundation 西表島 inc.

■ 国際ダークスカイ協会 (IDA)、IDA 東京とは

国際ダークスカイ協会は、人工照明による光害問題に取り組む NPO 団体です。その東京支部（略称 IDA 東京、代表：東洋大学経営学部准教授 越智信彰）は、2013 年 1 月に開設されました。環境分野・照明分野・天文分野等の専門家が集まり、光害を抑え省エネにも配慮した良好な光環境の形成を目指し活動しています。 <http://idatokyo.org>

■ 本件に関するお問い合わせ先

国際ダークスカイ協会 東京支部 事務局（担当：越智信彰（おちのぶあき））
FAX：03-3945-7477 E-mail：ochi (at) idatokyo (dot) org